

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	道路・橋梁新設関連事業	コード	担当課係	都市整備課架橋対策係
		01-01-11-15	担当者	淵本 安志
事業実施期間	H6~H26			
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	道路		
	施策	架橋の整備促進		
		電話	64-1835	

事業について	
目的	新備前市の南北軸を強化し、地域間の連携を促進する
対象 (誰のために)	市民、観光客他
内容	備前市日生町寒河の市道新設

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
道路設計	延長 300.0 m		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	18,934	国庫補助金等	9,350	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,320	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	21,254	市債	5,280	合計	0	市債	0
			一般財源等	6,624	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.27	人
結果指標名	道路設計	
結果指標量	1	
単位	箇所	
対前年比	-	
事業費	21,254,000	円
単当たりコスト①	21,254,000	円

結果指標名	道路設計	
結果指標量	1	
単位	箇所	
対前年比	-	
事業費		円
単当たりコスト②		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	進捗率	式又は説明	実施事業費計/計画総事業費
成果指標量	4%		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	H26

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	安全で快適に暮らせるまちづくり。離島地域の隔絶性の解消、利便性の向上、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化などが期待できる事業
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	費用便益費 (B/C) =3.7と事業費を大きく上回る効果が期待できる。便益45,470.9百万円、費用12,311.6百万円(平成17年度日生頭島線第2期事業効果調査報告書)
	手段の最適化	
有効性の評価	市民関与の妥当性	新市の一体性の向上、地域の活性化が期待できる
	職場の効率化	
	目的達成度	
成果向上の可能性		
市民参画度		

総合評価	コメント	評価区分
	離島地域の隔絶性の解消、利便性の向上、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化などが期待できる	<A~E>
		A

今後の方向性	進捗率	結果指標量②
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)		
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する		
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する		
<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	進捗率	結果指標量②
目標値	成果指標量	10%

改善事項	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
評価の視点			
効率性	工事の効率を図る	毎年	事業費の削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。